



米子市長定例記者会見資料	
令和5年4月11日	
担当課 (担当者)	環境政策課 宮脇
電話 (0859) 21-0740	

報道機関 各位

## ドローンを活用したヌカカ発生抑制対策について

令和4年度から本格実施を始めたヌカカ発生抑制対策事業において、令和4年度はドローンを活用した石灰散布の実証試験を夜見町地内の70アールで実施し、作業の安全性及び効率性等を検証しました。

検証結果を踏まえて、令和5年度はドローンを活用した石灰散布を希望された自治会により実施面積を約2ヘクタールに大きく拡大して、本格的に事業実施を行います。

### 記

#### 1 石灰散布作業のドローンの活用について

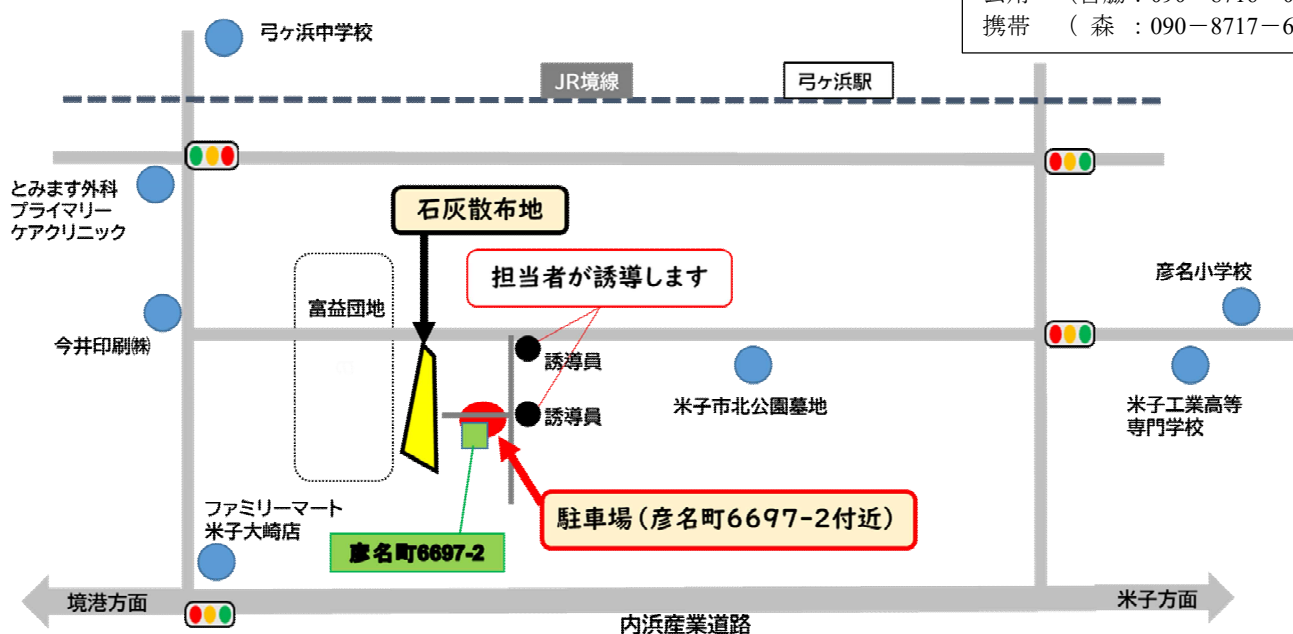
##### (1) 実施面積等

- ・実施自治会 彦名地区の4自治会及び崎津地区の1自治会（計5自治会）
- ・実施面積 約2ヘクタール（令和4年度70アールの約3倍）

##### (2) 現地取材について

- ・取材可能自治会：彦名10区自治会
- ・実施日時 4月24日(月) 午前9時30分ごろ～（雨天・強風の際は翌日に順延）  
※当日8時に実施の判断をします。順延の場合は、米子市政記者室の一斉FAX・一斉メールにてご連絡いたします。
- ・実施場所 米子市彦名町6697-2付近 約5,000㎡
- ・駐 車 場 米子市彦名町6697-2周辺（各社1台まで）
- ・そ の 他 同日に他作業も予定されております。作業の妨げになるような取材はご遠慮ください。

#### 【実施地周辺地図】



#### 【当日の担当者連絡先】

公用 (宮脇：090-8716-0660)  
携帯 (森：090-8717-6013)

## 2 これまでの経過

令和元年度～3年度	ヌカカ発生抑制対策のモデル事業実施（彦名地区）
令和4年度～	ヌカカ発生抑制対策事業本格実施（弓浜地区全域等） ドローンによる石灰散布の実証試験及び効果検証実施
令和5年度	ドローンを活用した石灰散布の本格運用開始

### (1) ヌカカ発生抑制対策について

これまでの調査研究により、ヌカカの主な発生源とされる荒廃農地において、石灰散布、除草又は耕うんを行い、ヌカカの幼虫を駆除し、成虫の発生を抑制することが有効であると分かりました。

令和4年度からは、弓浜地区全域等を対象地区として、対策作業を実施される土地所有者や自治会に石灰購入費等を助成する『米子市ヌカカ発生抑制対策費用補助事業』を開始しました。約14ヘクタールの土地で対策が実施されました。

令和5年度は、約17ヘクタールの土地で対策が実施される予定です。

### (2) ドローン活用の実験から本格運用について

作業負担を軽減する効率的な手法の一つとして、令和4年度、夜見町地内の70アールの土地でドローンによる石灰散布の実証試験を行い、技術面、安全性及び経済性等を確認し、実施可能な手法と判断したことから、令和5年度事業案内において、ドローンを活用した石灰散布を自治会に提案しました。

### (3) 自治会及び土地所有者へのアンケート調査について

対策を実施された自治会等からは、「ヌカカが減った」、「景観が良くなった」、「対策を続けてほしい」などの意見がありました。

特に、広い面積を継続的に対策した自治会からは「ヌカカの発生量が抑えられ健康被害が軽減した」などの効果を実感したという意見が多くありました。

これまで検証試験や自治会等アンケートの結果から、広い面積を継続的に対策することで、ヌカカの発生は抑制されることが判明しました。

## 3 今後の取組方針

広い面積に石灰を散布する場合、人の手による散布は身体的負担が大きく、将来的には高齢化等により実施が困難になることが予想されます。

ドローンの活用は、作業負担を軽減し、効率的に広範囲を対策することが可能であることから、今後もドローンの有用性を周知してまいります。